

西小は 大きな 家族

Family

～校長のたわいもない独り言・その2～

令和元年 10月2日(水) No.31

発行人

運動会はなんか”一人ぼっち”な
気分の川崎先生。何か出たいなあ～。

☆第 145 回橿形西小学校運動会に思う 9/28 (土) ☆

◆**まずは抜群の天気。**直射日光は雲に遮られ、暑くもなく寒くもなく風もなく、これぞ絶好の運動会日和。天気予報では雨マークもあったけど、結局一日穏やかな天気。結構天気には気をもむんですよ(^_^)。

◆**係の子どもたちが走る走る。**競技のために道具を持って走る走る。ラインを引くために走る走る。リーダーも先頭に立って走る走る。運動会の競技以外にも見所がたくさんあることがスゴイ！！

◆**「ころがせ！西小玉しい」(3・4年)。**大玉はなかなか思い通りに転がらない。”ころがせ”というよりも”ころがされ！”かな。その自由にならないところがおもしろい。

◆**「ねこ車でGO」(5年親子)。**なぜ一輪車を”ねこ”と言う？ということは置いておいて、やっぱり競技なんだからお父さんお母さん真剣になりますよね。和気あいあいとか口では言いながら、結構マジでしたよね。子どもさん、大事に運んでくださいよ(^_^)。

◆**「わくわく玉入れ」(1・2年)。**どこ投げてるの～(=^・^=)。まあ1, 2年生にとっては、とてつもなく高い場所にあるから仕方ないね。高すぎて届かないのも愛嬌愛嬌。

◆**「心はひとつ」(4年親子)。**そりゃ二人三脚より抱えた方が速いですよね。その気持ちわかります。でも和気あいあいですよ、お父さん。競技とするからいけないんですね。親子レクとか言えばいいんですよ。うんうん。

◆**「すべてをうばえ！」(5・6年)。**これぞカオス。とにかくカオス。作戦もなにもあったものじゃない。とにかく目の前の獲物を奪いに行くのみ。奪った先からまた奪われる。本当にカオス。この競技は”はしっこっさ”が何よりも重要。

◆**「なかよくストライク」(3年親子)。**なかなかピンに当たらないんですよ、これが。でもあせらないあせらない。和気あいあいですから。親子レクですから。親子で参加することに意義があるのですから。はい。

◆**「にこにこレース」(1年)。**1年生速い！！。というか、すばしっこい。ちょこちょこ走って、ぴょんと跳んで、なんともかわいらしい。この際、順位なんかどうでもいいですよ。

◆**「白くま親子」(6年親子)。**出ました伝統の白くま親子。これはお父さんの見せ場ですよ。ダメですよ遠慮したら。白くまですから、髪の毛まで白くならないと。なんなら全身でもいいんですけどね。来年から小麦粉の入れ物は”たらい”にしましょか。

◆**「なかまにつなげ2年生」(2年)。**いつの時代も、どんな年代もリレーって興奮しますね。いやどこが勝ってもいいんですけど、全員の全力で走る姿が見られるって、やっぱり興奮しますね。バトンパスとかどうでもいいんです。要は渡せば。はい。

◆**「決戦！綱引き 2019」(全校)。**はいパワー全開。全部で4回引くって、大人ならムリムリ言います。でも子どもは全然疲れているように見えない。あ～、若いって素晴らしい

いなあ。いいんです、わが青組は全敗でも。みんな上品なので仕方ないのです(^_^)。

◆「いつも元気に 2019」(祖父母)。毎回思うけど、おじいちゃんおばあちゃん若いですね。まだまだ十分に走れますよ。川崎がその中に入っても違和感ないです。

◆「よっちょれソーラン 2019」(1. 2. 3年)。3年はやっぱりピシッと決まるし、2年は余裕の踊りだし、1年はただただかわいい。この3学年の違いと言うか、成長が見えるというか、なんともいい感じ。教え合いながら一緒に踊ると言うことが、西小家族の証みたいなもの、本当にいいなあ〜と思いますよ。

◆「親子でわっしょい」(2年親子)。やっぱりお父さんお母さんの方が一生懸命というか本気モードでしたね。和気あいあいといいんですよ。競争しなくてもいいんですよ。と何回言っても、どうせ来年も競争になるんでしょうが・・・。

◆「ソーランW2019」(4. 5. 6年)。やっぱりこれっすね。下級生の頃からみんなこれに憧れるんですよ。そして高学年になってやっとできる。だから子どもたちも真剣だしプライド持ってるし、本当に華がある表現です。そしてビデオ撮り一番失敗する場でもあります。絶対途中でわが子を見失うんですよ。もしも2人以上いたら、それこそパニックです。まあ、引いて全体撮ればいって話ですが。

◆「でかパンマン親子」(1年親)。ほらほらお父さんお母さん、真剣になりすぎ。子どもよりはるかに親の方がマジ。子どもさん、引きずられてますよ(^_^)。でもそんな姿を見るのも楽しいものですが。

◆「バトンをつなげ」(3. 4年)「光輝け」(5. 6年)。リレーは陸上の華と言われます。確かに見ていて楽しいというか興奮します。それも年齢が上がれば上がるほど、バトンパスも上手になって、思わず”お〜っ”とか声が出ます。そう言えば、昔は地区の運動会にも年齢別リレーとかありましたね。区長さんがアンカーだったり(これが一番心配だった(^_^))。川崎は3回くらい転んでます、はい。

◆「ジャンプ アンド ターゲット」(全校)。これよく考えられた競技ですね。そして一番練習するのもこの競技です。ここでも6年生のリーダーシップが光ります。勝っても負けてもみんな拍手して喜ぶ。最後にふさわしい西小の伝統競技です。これを保護者競技にしても楽しそうですね。教員チームVS保護者チームとか・・・。やっぱりやめよう、絶対熱くなってけが人続出しそう・・・。

◆全競技を終えて得点発表。何と何と赤組と黄組が同点優勝。こういうこともあるんですね。でもおかげでわが青組が準優勝カップもらえました(^)v。なんか丸く収まるってこういうことなんだなあ〜。と一人で妙に感心していました。

◆そして色別の集会。6年生の感動の言葉と、5年生の感謝の言葉。いつもながらこの光景はいいものです。これを1年〜4年も見ているのですから、良い関係性が生まれるわけです。そして伝統が引き継がれていくのです。何とも感動的な瞬間です。

◆すべてが終わって、さあ片づけ。ところがあ・・・、非常に多くの保護者の皆様が、近くのテントを片づけ始めたじゃありませんか。役割分担とか関係なく、誰かが音頭を取るでもなく、自然に始まるテントの片づけ。そしてそして、あっという間に終わってしまいました。こういうところを見ると、子どもが素晴らしいのは、保護者の皆様が素晴らしいからに違いない。決してお世辞じゃありません。本心からです。本当です。くどいようですが本当です。